

一般質問

博物館建設の構想について

能登立国1300年をテーマに博物館建設を！

桂議員 来年の秋にオープン予定の博物館の目玉、特徴は何か。タイミング的には、能登立国1300年をテーマにすべきと考えるが、どうか。博物館は、能登立国1300年の暮らし、自然、歴史、文化の価値を踏まえ、未来を創造することをコンセプトにしている。また、能登の玄関口としてふさわしいものにし、目標も示されており、検討委員会などにおいても、いろいろと検討していると思うが、どのような博物館構想になっているのか。

浦辺教育部長 博物館は、能登自動車道七尾インターに隣接する能登歴史公園に建設され、能登の玄関口としての機能を生かし、豊かな能登の里山里海を発信する魅力的な施設になるよう計画。開館予定の平成30年は、能登立国1300年を迎える年で、その当時の時代も含めた七尾らしいテーマの開館記念展も視野に入れて検討する。今年の11月「こしのくに国府サミット」が七尾市で開催され、このサミットを通して広く能登立国1300年の気運も盛り上げ、博物館開館につなげたい。博物館には、少年科学館にある数万点の収蔵物の展示やCGの制作、グッズの販売など、関係機関に働き掛けながら、気運を高めて博物館開館につなげていきたい。

【その他の質問項目】

■地域づくり協議会と地域福祉

■地域づくり推進基金

■サッカーコート整備

■病院敷地内の薬局設置

桂 撤男 議員
(灘会)

能登歴史公園

予算常任委員会

委員会付託

・議案22件 ・報告2件 (議決不要)

主な審議内容

平成29年度七尾市一般会計予算

◆原子力環境安全管理協議会での発言について

- ①「原発関連の交付金や給付金を受け取っているようでは、原発に対して自由に意見を言えない」と発言している首長もいる。その点、市長は、県の原子力環境安全管理協議会で自由に発言できないということはないか、伺う。
- ②協議会は、原発周辺の地域住民の安全確保、環境保全について必要な事項について協議する場で、委員には大学の教授など学識経験者をはじめさまざまな分野から構成されている。会議では、技術的や専門的な見地から意見を述べたり聞くことになったりする。北陸電力は、説明員という立場で参加しており、交付金を受け取ったから言いたいことも言えないという首長もいるが、七尾市が同等の権利を与えることを主張しても詮無いこと。しっかりと時と場所を考え、会議にあった発言をしていく。

平成29年度七尾市一般会計予算

◆子育て支援について

- ③高校卒業までに入院でも通院でも医療費無料化するにはどれだけの予算が必要か。
- ④中学生で掛かった医療費で換算すると平成27年度実績で約900万円が必要となる。
- ⑤自己負担の廃止に必要な予算額は。
- ⑥平成27年度実績で申請総額1億1500万円に対し、助成総額1億200万円、その差額1300万円が必要。
- ⑦窓口無料化をすることによって、なぜ費用負担が増えるから出来ないとするのか。
- ⑧窓口無料化による予算額増の要因は、自己負担廃止で1300万円、受診増加による助成額の増額が導入自治体を参考に助成額の約4割増の約4600万円などいろいろな要因を含め約7000万円、それにシステム変更なども含めて1600万円がさらに必要になる。
- ⑨所得制限を廃止して第2子の保育料無料化としたときの必要な予算額は。
- ⑩今年度、一定の所得制限で保育料の第2子無料化した。その所得制限を廃止したとき、平成29年2月の試算で1億9000万円あまりの市の負担になる。

- ◆委員長／桂 撤男
- ◆副委員長／石川 邦彦
- ◆委員／全議員 (高僧議長を除く)

予算常任委員会の総括質疑された内容について、主に下記内容が議論されました。

平成29年度七尾市一般会計予算

◆公共交通ネットワークについて

- ①地域公共交通網形成計画事業ということで、持続可能な交通ネットワークの再構築を行う作成委託費用が計上されているが、この計画のなかには七尾中学校への通学のための路線バスの増加、また地域創生交付金としての事業の中の一つにある地域の足を守るための乗合タクシー事業など、これらのものを交通ネットワークのなかに再構築するのかわるか。
- ②市民の利便性向上のためのバス路線の再編や交通空白地の新たな交通サービスの提供、例えば、地域づくり協議会が主体となって行うデマンド型タクシーなどを検討しながら、計画に盛り込んでいきたいと考えている。
- ③地域間交通実証事業として、買い物や通院などの移動手段確保のために中能登町と連携して行う実証事業となっているが、具体的にどのような路線でどのような地域の方の足を確保して利便性を図るのか。
- ④中能登町の道の駅からのと蘭の国を通り、公立能登総合病院、七尾駅、和倉温泉駅、総湯前、田鶴浜駅、アスロン。そこからまた七尾駅、公立能登総合病院、のと蘭の国と通り、中能登町の道の駅に戻ってくるコースになる。実証事業は、7月から開始予定で、1日4便(8時、10時半、13時、15時)、1往復が約1時間半かか、個人負担は500円となる。



市内を走る路線バス